



公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌 サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.6

2019.2 月号

バングラデシュで元気な挨拶が飛び交います

NDMHS開校から 6年目を迎えます



2013年にバングラデシュで開校したナラヤンクル・ドリーム・モデル・ハイスクール(以下NDMHS)では、開校当初から「時を守り、場を清め、礼を正す」という3つの原則が人としての土台に必要であることを、生徒たちに全校集会で伝えてきました。すぐに変化が出たのは挨拶です。挨拶を受けた喜びの気持ちを全校集会のたびに共有をすることで、元気な挨拶が飛び交う雰囲気が当たり前のようになりました。

時を守ること・場を清めることも分かりやすいようにエピソード を用いながら遅刻や提出物の期限、身の回りの整理整頓、自らゴ ミを拾うようになるように全校集会で伝えきました。その甲斐もあり、全校生徒が自分の言葉で3つの原則を説明できるのが当たり前です。

今では、生徒の発案から【地域ゴミ ゼロ運動】として生徒自ら竹で作ったゴミ箱を学校付近の地域に設置して、その回収など地域活動も行うようになりました。地域の方からも良い反響を頂いています。バングラデシュでのモデル校を目指し、継続してまいります。

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1□ 12,000円

法人会費(年額)1 口 120,000 円

一般寄附

用途は指定しないで 金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- ●学校建設寄附 (1) 一口寄附 (一口 100,000 円)、(2) 一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン (一口 12,000 円から)
- ●食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月)
- ●孤児院里親会費(12,000 円 / 月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細は SAJ 事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告(指定寄附別)支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします!

学校建設寄附【贈呈式】

2018年11月28日 SFPホールディングス株式会社様の ご支援によって建設されたワットプロスラー小学校の贈 呈式がカンボジアプレイヴェン州で行われました。

SFPホールディングス株式会社様は、今回で7校目をご支援くださいました。

No.280 ワットプロスラー小学校

プレイヴェン州教育局長のチョン・ソパールさんと SFP ホールディングス株式会社 総務部長 鈴木様 2018年12月9日 株式会社大幸インターナショナル様のご支援によって建設されたダムナックダンカオ小学校の贈呈式がカンボジアバッタンバン州で行われました。 株式会社大幸インターナショナル様は、今回で6校目をご支援くださいました。



里親様支援

年に3回、子どもたちから里親様へ感謝の気持ち を込めて手紙を書いています。(カンボジアで

は手紙を書く習慣がありません) 里親様から自分宛に届く手紙を受け取る時の、喜びを隠しきれない子どもたちの姿は何度見ても印象的です。宝物として大切に保管し何度も読み返しています。支援してくださる里親様へ感謝の気持ちを自分の言葉で書けるよう、子どもたちへ指導をしてまいります。





ソーン・チャンダン(小3)



チョム・スレイチュー(小2)



クメール語へ翻訳した手紙の文章を読む子どもたち



ホー・エー(小5)



左)パエ・ソピアップ(小2)、右)パエ・ソッポル(小2)

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただく ことができます。寄附の種類も選べます。 https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/



会費・寄附金のお振込み

- ●郵便局:00140-5-345903
- ●三井住友銀行:蒲田支店(普)4353626 □座名:公益財団法人 School Aid Japan
- ※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。
- ※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

第 189 回理事評議員会が 2018 年 12 月 25 日に行われました。議案は下記の通りです

SAJは、すべての理事で構成され 業務に関する決定を行う理事会 と最高議決機関である評議員会 が毎月開催されています。 《構成メンバー》

(伸成人ノハー ・ 小吉田吉

- ■代表理事 渡邉美樹
- 渡邉美樹 ■理事
- 鳥井親一、清水和雄、武長彩子、 磯野健雄
- ■業務執行理事
- 青木茂雄
- ■評議員 大江光正、清水邦晃、佐藤誠、 高橋亮、大城慶正、白柳直美
- ■監事

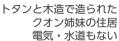
片山進平、小田剛志

議案 1: 孤児院新しい孤児の入園について検討と承認

新入園児の紹介および現地での家庭調査の報告説明がされた後、承認をいただきました。 今回の調査でクオン姉妹2名の入園が承認され、合計65名となりました。



左から叔母、 クオン・パンニャー (12歳)、 クオン・ロアッタナー (7歳)





議案2: DVD 事業の MOU (協定覚書) 変更に関する検討と承認 2018年12月末までから2019年6月へ期間の変更。撮影本数変更の説明。 変更MOUの調停式日程が提案され、承認をいただきました。

SAJ Farm

12月の ファーム



School Aid Jap

SAJ ファームは、孤児院の子どもや、 将来的には農業を志すカンボジアの 若者に技術を習得させるための実習 場 (農場) として、2010 年にスター トさせた就労支援事業です。



SAJ Farm にて稲刈り中

稲刈り開始

12月SAJFarmでは稲刈りが始まりました。 2018年の12月は雨が少なく、水田の地面が 乾いていたため稲刈りはとてもスムーズに 進みました。現地スタッフは小さい頃から 家の手伝いで稲刈りをしてきたので、稲刈 りがとても速く、私達にはとても追い付け ません。収穫した稲は田んぼの畔に2~3日 逆さにして乾燥させます。逆さにすること で葉や茎に残った養分がコメに貯まって美 味しくなります。乾燥させた稲は、近所の 農家さんに脱穀機をお借りし脱穀します。 脱穀してできた籾は今年1,426kgでした。前 年度よりわずかですが取れ高が41kgアップ しました。脱穀した籾は、近所の農家さん にお借りした精米機で精米し、白米にして から孤児院へ送り、子どもたちに食べても らいます。(農場長角井)





写真上:脱穀作業、下:精米作業

スタッフ紹介

NDMHS事務局長 中野 優志

NDMHSの土地、校舎、物品などの購入 および交渉と運営資金管理、現地事務局 員の指導を6年間行っている中野さん。

バングラデシュへ赴任前は郁文館夢学園 の経理を担当されていました。

大学時代から、教育が世の中を良くする全 ての根源でありそれには「学校」が大切だ と思っていました。学校をゼロから作る経 験をバングラデシュでしたいという熱意 から現地職員へ立候補し現在に至ります。 「文化・価値観等の違いから沢山の壁にぶ つかるけれど、バングラデシュの人が好き



NDMHS の事務職員たちと。写真中央が中野事務局長

です。家族や友人を大切にする優しい心を持ち、宗教を真剣に信じる姿を見ていると色々な事を勉強させてもらっています。」と中野さんは語っています。

NDMHS の生徒たちと

オークンチュラーン 代表理事メッセージ

年が明けてすぐに、私は SAJ の支援者の皆 様と共にカンボジアに行きました。そこ で、副首相、社会福祉大臣、教育大臣、労働 大臣とお会いしました。

社会福祉大臣とは、孤児院に関する今後の 政策について協議しました。というのも、 社会福祉省は現在、カンボジアの孤児院を 段階的に減らす政策を推進しています。寄 附をだまし取る悪質な孤児院が横行して おり、入園孤児に対する支援活動も不十分 なため、孤児院を卒園しても社会で適応で きない若者が増えているからです。

ポーサット州で運営している SAJ の孤児 院が削減対象にならないだろうか。そんな 心配から社会福祉大臣とお会いしたので すが、杞憂に終わりました。

社会福祉大臣は SAJ のことを事前にとて

もよく勉強されており、「明確な入園基準 に基づき、本当に貧しい子どもだけを受け 入れ、生活習慣や学力を身に付けさせて、 高校卒業後も大学や専門学校に子どもを 通わせている SAJ の孤児院は模範的な孤 児院である。これからも孤児院を本当に必 要としている子どもたちのためによろし くお願いします」と仰ってくれました。支 援者の皆様と共に 18 年間、カンボジアで 真摯に活動してきた結果、SAJはカンボジ ア政府から高い評価を得ています。

教育大臣とは SAJ の教育コンテンツ事業 の今後について、労働大臣とは日本へ労働 者を送り出す送り出し機関(日本語学校) について協議しました。

今後も政府と連携して、カンボジアやバン グラデシュでさらに質の高い活動を展開

してまいります。皆様の温かいご支援をお 願い申し上げます。



代表理事 渡 追美樹

支援者様メッセージ 横浜あおぞら整骨院 代表取締役 大城 慶正様

私が、SAJ の活動に参加させていただくよ うになって、8年が経ち、その間に5校の 小学校の起ち上げに関わらせていただき ました。

初めて、プノンペンの街に降り立ったあの 日、こんなにも貧しい国があるのかと驚き ました。それと同時に、カンボジアの赤い 大地とどこまでも続く青空の下、出会った 子供達の輝くような笑顔を「守りたい」そ う強く思ったことは今でも忘れません。

「ペンは剣よりも強し」の言葉のように、教 育こそが、彼らを貧困から救い、あらゆる 困難に立ち向かう力となると信じていま す。

こうした現実を知るきっかけになった代 表理事との出会いに感謝し、これからも SAJの活動に参加させていただき、すべて の子供達に教育の機会と環境を与え続け たいと願っています。



ご支援いただいた寄附

2019年1月度

1月の寄附金合計 18,667,970 円

(内訳)

会員会費 2,092,617円 436,718円 一般寄附 16,138,635円 指定寄附合計

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略)※法人名、団体名は 2018 年 4 月現在のものです。

ワタミ(株) 「わたみん家」有楽町日比谷口店 ワタミ(株)

「わたみん家」家熊谷北口駅前店

ワタミ(株)

「三代目 鳥メロ」難波道頓堀店

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局への持参にて承ります。

今後の予定

2月3日

孤児院 夢達人ライブ(働<人々)

2月17日

ワタミ株式会社様

カンボジア視察ツアー Farm 来場・孤児院来園

2月18日

第191回 理事評議員会

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額 (2001年度~2017年度)



8,827万8,305円



現在、SAJの建設した



SAJ の建設した学校で お米を受け取った 児童数の累計



(2006年度~2017年度)

SAJの建設した学校で 朝給食を支給された 児童数の累計 (2006年度~2017年度)



建設した学校の合計 (2001年度~2017年度)



ふれあいサポートプランで 文房具や制服を受け取った 児童数の累計



vol5: 2019.2 月号

孤児院の卒園生ハイ・トールがSAJ Farm職員として勤務を開始しました。次回はハイ・トールをご紹 介いたします。孤児院の卒園生がSAJの職員として勤務するのは、孤児院職員のスレイノーイに続き2 人目です。働くことの大変さや、これまでの感謝の気持ちを後輩たちへ伝えられるよう頑張って欲しい と思います。

発行|公益財団法人 School Aid Japan

編集 公益財団法人 School Aid Japan

デザイン ワタミ株式会社 制作部

TEL: 03-5737-2773

FAX:03-5737-2793 Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

公益財団法人 School Aid Japan 本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3

http://www.schoolaidjapan.or.jp